

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

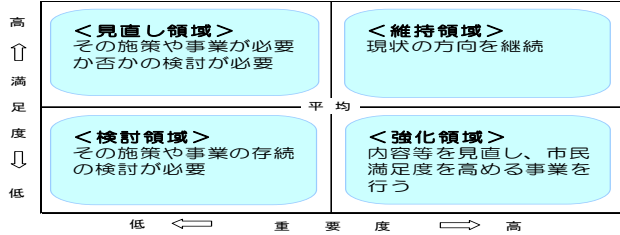
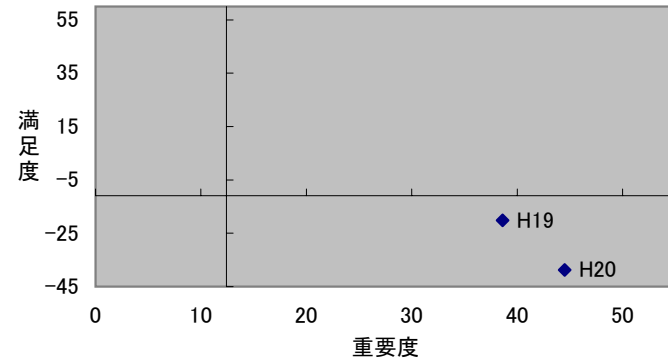
施策名 (小項目)	病院事業	コード	作成者	役職	総括事務長
		02-02-07	氏名	竹中史朗	
			電話	64-3845	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	(対象) 地域市民 (目的) 国保直診の役割として、保健・医療・福祉を一体的に提供する。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	1. 医療ニーズの量から質への変化 2. 診療報酬・介護報酬マイナス改定や医療費個人負担率見直しによる病院・施設経営の厳しさ増大。 3. 3病院の連携・機能分化の構築と経営健全化。 4. 岡山市内の高度医療提供施設との連携、地域密着型の医療サービスの提供、医師確保。 5. 本年も市民満足度が重要度44.5%、満足度-38.7%の強化領域にあるのは、備前病院から外科医師の引き揚げ報道、産科を初めとする医師確保の難しい診療科を公立で経営できていない事、救急搬送件数が市外搬送が多いことへの市民の懸念、病院の医療安全確保体制への懸念が市民にあると分析する。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域密着型の医療サービスの提供</li> <li>地域連携の強化</li> <li>3病院機能分化</li> <li>3病院経営健全化</li> <li>職員ローテーション</li> <li>備前病院の建替え検討</li> <li>病院事業の経営手法の確立</li> </ul>	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	38.6	44.5	
満足度(%)	-20.2	-38.7	



調査結果に対するコメント、市民の反応等	重要度44.5%、満足度-38.72%の強化領域にあるのは、本年2月の備前病院から外科の常勤医師引き上げ報道の影響が大であり、産科を初めとする医師確保の難しい診療科を公立で経営できていない事、救急搬送件数が市外搬送が多いことへの市民の懸念、病院の医療安全確保体制への懸念が市民にあると分析する。病院事業への繰り出しも年々減少している中、経営を無視した経営は不可能である。医師不足等の現実を市民に理解してもらい、民間病院・岡山市内の高度機能病院との連携、地域に信頼される安全で機能的な医療確保に努力してゆかなければならない。
---------------------	---

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 経営統合率	目標	件	1	1	1	1	1		3病院事業を1つの病院事業に統一
	実績	件	3	3	3				
	達成率	%	0.0	0.0	0.0				
2 病院事業の黒字化	目標	件	3	3	3	3	3		3病院事業のそれぞれの黒字化
	実績	件	2	2	1				
	達成率	%	66.7	66.7	33.3				
3 入院稼働率	目標	%	85.0	90.0	90.0	95.0	95.0		病床90%の稼働率を目指す。
	実績	%	71.7	84.2	84.8				
	達成率	%	84.4	93.6	94.2				
4 年度純利益	目標	千円	180,000	35,000	35,000	35,000	35,000		各病院1000万円とさつき苑500万円の黒字化を目指す
	実績	千円	142,855	-62,627	-540,282				
	達成率	%	79.4	-178.9	-1543.7				

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20 当初予算 直接 事業費		
				H17			H18			H19					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数			
病院運営事業	B	備前病院経営	その他単市	33,553	71,551	8.00	30,468	67,063	7.60	24,032	53,678	6.73	☆☆☆	人件費のみ	25,000
		備前病院庶務	その他単市												
	B	日生病院経営	その他単市	27,962	38,235	4.15	36,974	48,105	5.35	38,567	46,857	5.20	☆☆☆	人件費のみ	37,387
		日生病院庶務	その他単市												
	C	吉永病院経営	その他単市	20,256	33,510	3.20	30,600	45,665	4.75	63,011	49,332	5.00	☆☆☆	人件費のみ	30,600
		吉永病院庶務	その他単市												
診療事業	C	備前病院入院	その他単市	665,520	714,434	98.00	643,326	705,783	99.40	563,588	723,143	96.93	☆☆☆	\$\$\$	658,044
		備前病院外来	その他単市												
		備前病院その他医業	その他単市												
	B	日生病院入院	その他単市	399,176	388,790	43.30	593,204	458,740	78.65	613,684	456,524	82.80	☆☆☆	\$\$\$	669,854
		日生病院外来	その他単市												
		日生病院その他医業	その他単市												
B	吉永病院入院	その他単市	872,048	569,170	76.60	917,136	587,935	86.40	1,207,397	671,931	92.24	☆☆☆	\$\$\$	836,825	
	吉永病院外来	その他単市													
	吉永病院その他医業	その他単市													
さつき苑入所運営事業	B	入所運営事業	その他単市	168,030	144,848	35.25	171,413	146,666	35.30	167,513	146,306	32.89	☆☆☆	\$\$	160,384
通所リハビリ運営事業	B	通所リハビリ運営事業	その他単市	7,119	23,026	5.90	8,413	28,443	7.15	10,922	25,591	6.11	☆☆	\$\$	10,459
居宅介護支援運営事業	C	居宅介護支援運営事業	その他単市	227	3,225	0.75	2,180	2,927	1.30	349	4,567	1.01	☆	\$\$	342
訪問看護事業	C	訪問看護事業	その他単市	989	14,880	3.15	1,281	14,400	3.15	2,537	13,322	3.00	☆	\$\$	2,750
吉永病院建設事業		吉永病院建設事業	その他単市	1,734,822											
日生病院建設事業		日生病院建設事業	その他単市	1,505,221											
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17	H18	H19	H20当初(直接事業費)								
				5,434,923	2,001,669	278.30	2,434,995	2,105,727	329.05	2,691,600	2,191,251	331.91	2,431,645		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
各病院	医師・看護師確保・医療安全体制の確立	良質な医療提供を維持するため。医療事故発生の未然防止と病院機能向上のため。
備前市	早急な経営手法の確立と患者サービス向上	病院事業の一本化。待ち時間短縮、接客改善。
各病院	積極的な救急体制	近隣市への患者流出防止と市民満足度の向上を必要とする。
各病院	新規診療科目の検討	住民ニーズは小児科・産科等の診療科目。ただし、黒字化と反する。

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度 (中・長期目標に対する)	1	日生病院だけ黒字だが、吉永病院の赤字は償却によるものであるが、備前病院事業は外科医師の引き上げもあり大幅な赤字。繰入金金の減少も赤字要因である。	2	経営統合は進んでいないが、経営上で連携可能なものは統合していくことが必要。
2 事業構成の適当性	1	速やかな経営統合の必要があるが、全く進捗していない。赤字が多い事業から優先順位を決定した。	2	事業内容を再度見直し、改善可能な事業を選択すべき、現在進行している事業が少ない。
3 施策の有効性 (評価年度の目標達成)	2	市民ニーズと乖離しており、市民ニーズに合わせるには基準を遵守した繰入金金の必要がある。	2	市民ニーズのみの対応を行えば経営的には苦しくなる。安定経営と市民ニーズを考慮しながら施策を進める必要がある。
担当への指示 (今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	市民ニーズと施策目標の乖離が問題。保健・介護事業との連携、より地域密着型の医療の推進が必要。各病院・施設とも更なる経営健全化を目指し医療安全対策に代表される患者サービスの具体策を講じなければならない。老朽化した備前病院の建替えを検討して、患者アメニティを向上させ市外に流失する患者獲得に努力する。		3病院の市民理解を得るには、それぞれの病院が経営状況も考慮しながら医療サービスの満足度を向上させる事が必要。職員一人一人の意識改革で患者増を図る努力を行う。	
二次評価者コメント 役職 副市長 氏名 野上 計行	市民ニーズと施策目標の乖離が問題。保健・介護事業との連携、より地域密着型の医療の推進が必要。各病院・施設とも更なる経営健全化を目指し医療安全対策に代表される患者サービスの具体策を講じなければならない。医師の確保を最重要課題とし、老朽化した備前病院の建替えを検討して、患者アメニティを向上させ市外に流失する患者獲得に努力する。			基本施策への貢献度 <b>4やや高い</b>